

◆ 九頭竜川水系 日野川ブロック河川整備計画の進捗点検個票（案）

第15回九頭竜川流域懇談会で説明する点検個票

点検票No. (資料ページ)	記 載 事 項		点 検 方 法	参 考 指 標	整備計画本文との対応		
	項 目	内 容			整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
No. 01 (P4~5)	5.1 河川工事の目的、 種類及び施行の場所など	(1) 日野川	日野川の河川整備 ・ 清水山工区 福井市清水山町地先（約100m区間） ・ 村国工区 越前市村国地先（約350m区間） ・ 下平吹工区 越前市下平吹町地先（約400m区間）	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) ＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16~17	P20~24
No. 02 (P6~7)		(2) 志津川	志津川の河川整備 ・ 福井市大森町地先 ～福井市滝波町地先までの約2,200m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) ＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16~17	P25~26
No. 03 (P8~9)		(3) 江端川	江端川の河川整備 ・ 福井市江端町地先～下河北町地先までの約2,600m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) [河川改修] ＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16~17	P27~28
No. 04 (P10~11)		(4) 河和田川	河和田川の河川整備 ・ 鯖江市落井町地先（鞍谷川合流点） ～河和田町地先（天神川合流点）までの約4,200m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) ＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16~17	P29~30
No. 05 (P12)		(5) 服部川	服部川の河川整備 ・ 越前市新堂地先（鞍谷川合流点） ～朽飯町地先（水間川合流点）までの約2,500m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) ＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16~17	P31~32
No. 06 (P13~14)		(6) 天王川	天王川の河川整備 ・ 越前町市地先（市姫橋）～宝泉寺地先までの約2,000m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) ＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16~17	P33~34
No. 07 (P15~18)		(7) 吉野瀬川・吉野瀬川放水路	吉野瀬川のダム整備 ・ （左岸）越前市広瀬町186字江岩谷地先 （右岸）越前市広瀬町183字木野境地先	① ダム整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	ダム整備進捗率(%) ＝施工済量(m ³)÷計画量(m ³)×100 付替道路整備進捗率(%) ＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16~17	P35~40
			吉野瀬川・吉野瀬川放水路の河川整備 ・ 越前市家久地先～芝原1丁目地先の2,400m区間 ・ 鯖江市鳥井町地先（日野川合流点） ～下司町地先（下司橋）の630m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) ＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100		
No. 08 (P19~20)	(8) 鹿蒜川	鹿蒜川の河川整備 ・ 南越前町今庄地先（旧今庄橋）～上新道地先までの約4,300m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) ＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16~17	P40~43	

◆ 九頭竜川水系 日野川ブロック河川整備計画の進捗点検個票（案）

第15回九頭竜川流域懇談会で説明する点検個票

点検票No. (資料ページ)	記 載 事 項		点 検 方 法	参 考 指 標	整備計画本文との対応		
	項 目	内 容			整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
No. 09 (P21~22)	5.2.2.1 洪水等による災害の 発生防止又は軽減 に関する維持管理	(1) 河川管理施設の維持管理	① 河川管理施設の巡視 ② 広野ダムおよび榑谷ダムの点検	実施状況の確認	—	P16~17	P44
No. 10 (P23~24)		(2) 河道の維持管理	① 堆積土砂の除去、樹木群の伐採 ② 橋梁や樋門等の新設・改築時の占有者への指導	実施状況の確認	—	P16~17	P44
No. 11 (P25~26)		(3) 防災機能の充実	① 流域内の雨量や河川水位情報の提供 ② 浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成	実施状況の確認	—	P16~17	P44~45
No. 12 (P27)	5.2.2.2 河川の適正な利用及び 流水の正常な機能の維持 に関する維持管理	(1) 水量の管理	① 日常的な水量の把握 ② 慣行水利権の許可水利権への移行 ③ 濁水対応	実施状況の確認	—	P17	P45
		(2) 許可工作物の設置等への対応	④ 占用工作物の監督				
No. 13 (P28)	5.2.2.3 河川環境の整備と 保全に関する維持管理	(1) 水質の監視	① 水質に対する住民意識向上のための啓発活動・広報活動 ② 水質事故等の発生時の対応 ③ 水質監視	実施状況の確認	—	P17	P45
No. 14 (P29~31)		(2) 河川環境の保全	① 魚道の設置・改築	実施状況、調査結果の確認	—	P17	P46
No. 15 (P32)		(3) 河川空間の適切な利用	① オープンスペースとしての高水敷部の利用状況や 自然豊かな河川とのふれあい・体験学習の場としての利用等 ② 河川内の不法投棄を防ぐための対策	利用状況、実施状況の確認	—	P17	P46
No. 16 (P33)	5.3.1 地域住民との協働		① 住民参加による河川美化活動	実施状況の確認		P17	P47
No. 17 (P34)	(その他) 3.1.3 流域治水			実施状況の確認		P11~12	-

河川整備計画 進捗点検		No.01	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P15~16	P19~23	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 日野川			
	内容	日野川の河川整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 清水山工区 福井市清水山町地先 (約100m区間) ・ 村国工区 越前市村国地先 (約350m区間) ・ 下平吹工区 越前市下平吹地先 (約400m区間) 			
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		$\text{整備進捗率(\%)} = \text{施工済延長(m)} \div \text{計画延長(m)} \times 100$			

① 河川整備の進捗状況

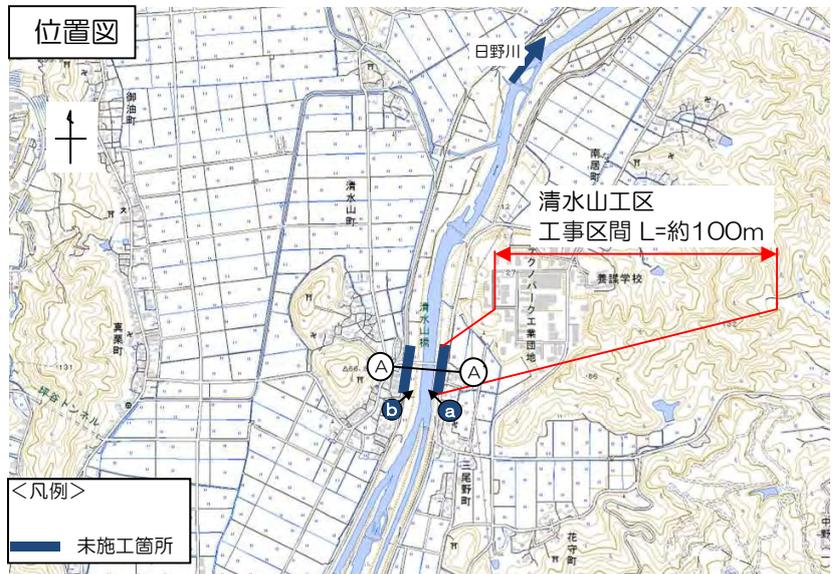
【工事期間】

- ・ 村国工区
令和4年度～令和6年度

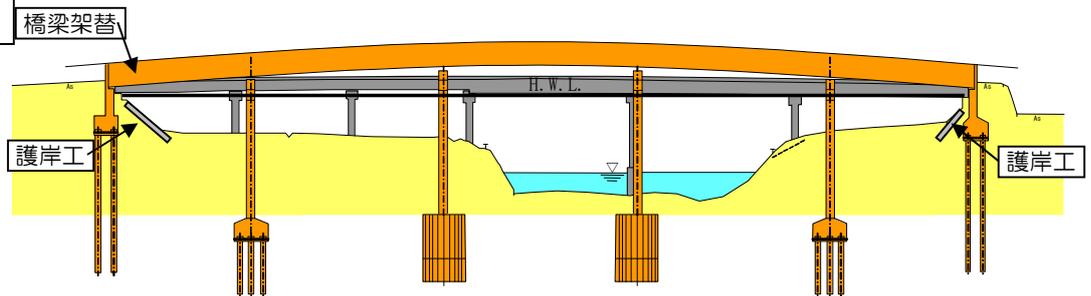
【指標】

整備進捗率 (%)

- ・ 清水山工区
= $0(m) \div 100(m) \times 100$
= 0 %
- ・ 村国工区
= $0(m) \div 350(m) \times 100$
= 0 %
- ・ 下平吹工区
= $0(m) \div 400(m) \times 100$
= 0 %

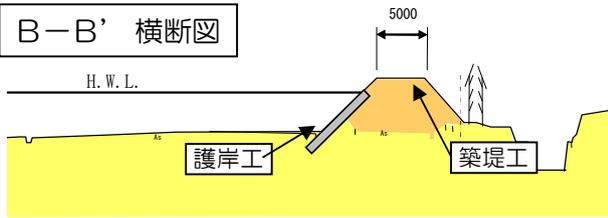


A-A' 横断面図



① 河川整備の進捗状況

B-B' 横断面図

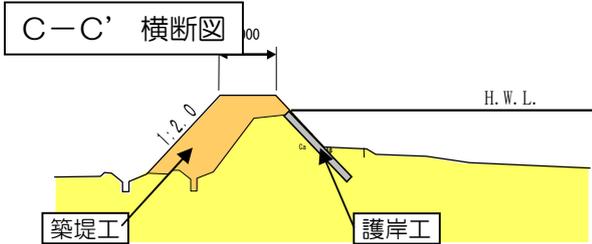


- 令和5年度に測量設計を実施予定。

C 越前市村国



C-C' 横断面図



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
村国工区		—	
	H18 年度	H27 年度	R7 年度
			R17 年度

点検結果の考察

- 村国工区について、河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。
- 他工区について、今後、下流区間の改修進捗状況および他河川の整備状況なども踏まえて、事業着手していく。

河川整備計画 進捗点検	No.02	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P15~16	P25~26	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (2) 志津川		
	内容	志津川の河川整備 ・ 福井市大森町地先～滝波町地先までの約2,200m区間		
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

災害復旧区間：令和3年度～令和5年度

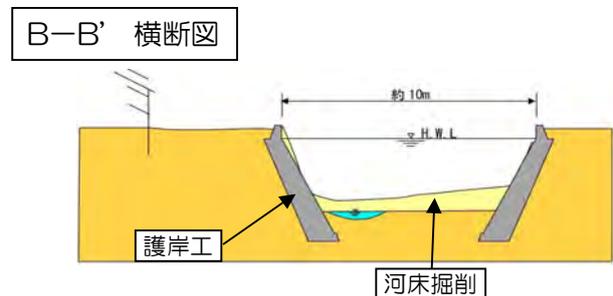
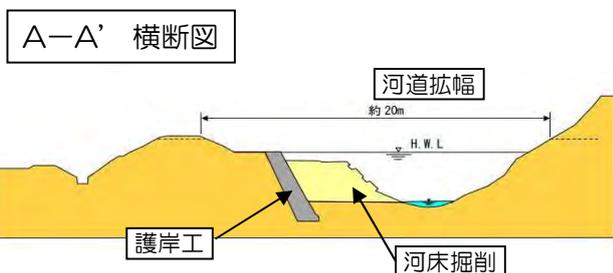
上流区間：新規事業化の手続き中

【指標】

整備進捗率 (%)

$$= 1,400(m) \div 2,200(m) \times 100$$

$$= 64 \%$$



② 整備時の配慮事項の確認

住宅密集地については、車や歩行者の通行など居住環境に極力影響を及ぼさないような工事工程、仮設工事を実施します。

- 令和3年度から災害復旧区間の整備に着手しており、令和5年度末までに約1,400m区間の整備が完了見込みである。
- 上流区間は未着手。



d 今後予定箇所



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
福井市大森町 ～滝波町	災害復旧区間: R3～R5		
	R4 年度	R13 年度	R23 年度
			R33 年度

点検結果の考察

- 災害復旧区間については引き続き事業進捗を図っていく。
- 上流区間の事業化に向け手続きを進める。

河川整備計画 進捗点検	No.03	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P16~17	P27~28	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (3) 江端川		
	内容	江端川の河川整備 ・ 福井市江端町地先～下河北町地先までの約2,600m区間		
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

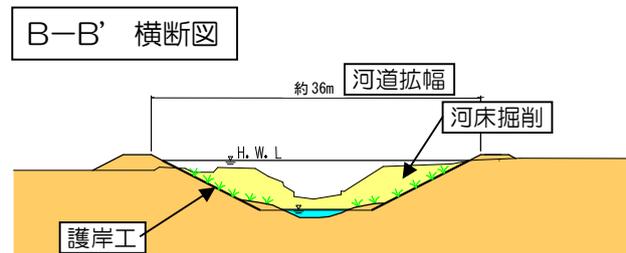
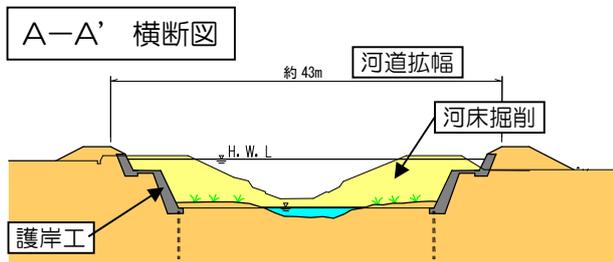
平成9年度～令和10年度

【指標】

整備進捗率 (%) (暫定込み)

$$= 887(m) (1,166) \div 2,600(m) \times 100$$

$$= 34 \% (45 \%)$$



② 整備時の配慮事項の確認

住宅密集地については、車や歩行者の通行など居住環境に極力影響を及ぼさないような工事工程、仮設工事を実施します。

- 平成9年度から工事区間の整備に着手しており、これまでに下流約900m区間の整備が完了している。
- 下流部の住宅密集地の工事に際しては、低騒音・低振動型の機械を用いるなど、周辺の住宅環境への影響に配慮した施工を実施している。
- 段階施工として、普通河川芥田川合流点から上流は左岸側の拡幅を先行し、まず当面1/10の治水安全度を確保して整備を進めている。



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
福井市江端町 ～下河北町	—————		
	H18 年度	H27 年度	R7 年度
			R17 年度

点検結果の考察

- 河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。

河川整備計画 進捗点検	No.04	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P15~16	P28~29	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (4) 河和田川		
	内容	河和田川の河川整備 ・ 鯖江市落井町地先 (鞍谷川合流点) ～河和田町地先 (天神川合流点) までの約4,200m区間		
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

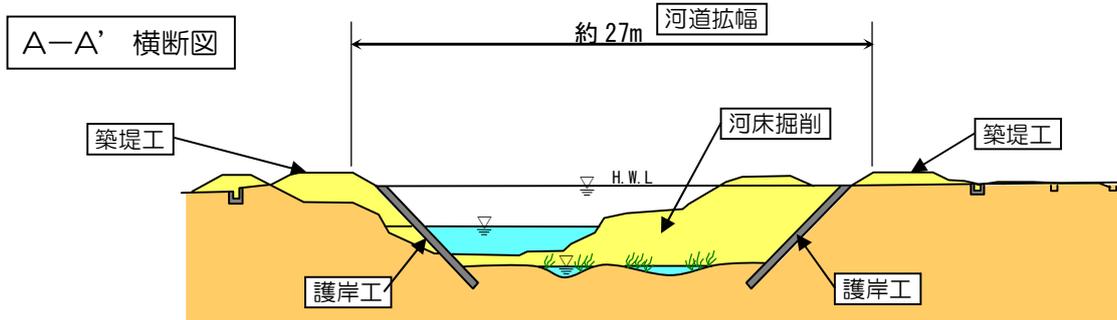
① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

平成16年度～平成22年度
令和5年度～令和24年度

【指標】

整備進捗率 (%)
= 593(m) ÷ 4,200(m) × 100
= 14 %



② 整備時の配慮事項の確認

住宅密集地については、車や歩行者の通行など居住環境に極力影響を及ぼさないような工事工程、仮設工事を実施します。

- 平成16年7月福井豪雨による被災後、鞍谷川の河川改修（災害復旧助成事業(H16～20)）に合わせて下流区間（鞍谷川合流点から593m）について、早期に整備を進めた。
- 残区間のうち、血ノ川合流点までを令和5年度に新規事業化。
- 今後、住家連担地区については、地元住民等の理解を得ながら、河川整備を行っていく。

b 工事着手前



平成16年7月撮影

b 工事完成后



平成29年12月撮影

c 今後予定箇所



令和4年4月撮影

工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
鯖江市落井町地先 (鞍谷川合流点) ～中橋付近	災害復旧助成事業(H16～20)		
中橋上流 ～河和田町地先 (血の川合流点)			
	H18 年度	H27 年度	R7 年度
			R17 R24 年度 年度

点検結果の考察

- 今後、河川整備計画に基づき、事業進捗を図っていく。

河川整備計画 進捗点検		No.05	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P16~17	P31~32	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (5) 服部川			
	内容	服部川の河川整備 ・ 越前市新堂地先(鞍谷川合流) ～朽飯町地先(水間川合流点)までの約2,500m区間			
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

平成31年度～令和20年度

【指標】

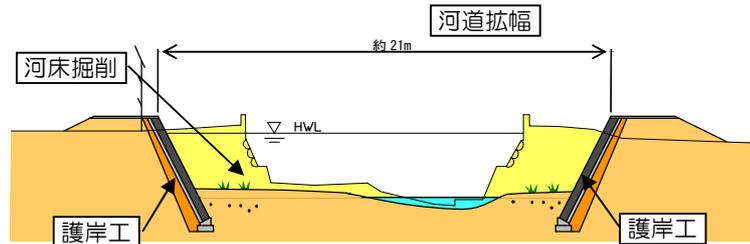
整備進捗率 (%)

$$= 400(m) \div 2,500(m) \times 100$$

$$= 16 \%$$



A-A' 横断面図



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
越前市新堂地先(鞍谷川合流) ～朽飯町地先(水間川合流点)	[赤線]		
	H30 年度	R10 年度	R20 年度
			R30 年度

点検結果の考察

- 河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。

河川整備計画 進捗点検	No.06	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P16~17	P33~34	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (6) 天王川		
	内容	天王川の河川整備 ・ 越前町市地先 (市姫橋) ~ 宝泉寺地先までの約2,000m区間		
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

平成15年度~令和15年度

【指標】

整備進捗率 (%)

$$= 790(m) \div 2,000(m) \times 100$$

$$= 40 \%$$



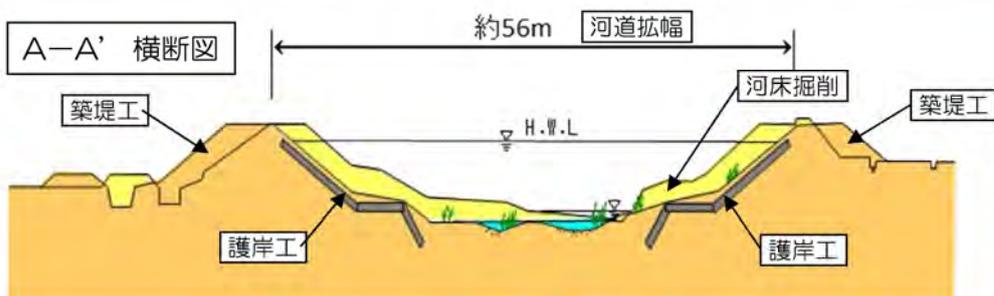
a 被災状況



b 工事着手前



b 工事完成后



② 整備時の配慮事項の確認

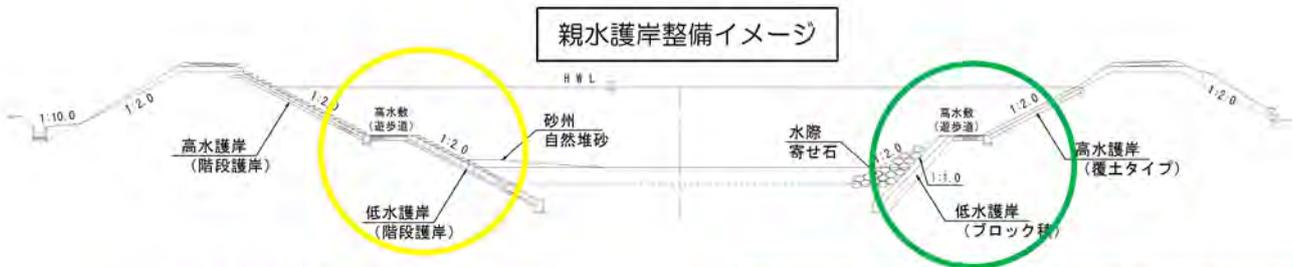
沿川に小中学校があることから、子供たちが河川環境について学習できる場として活用できるように護岸勾配を緩くするなど親水性を向上させます。

- 階段護岸などを整備することで、子供たちが河川環境について学習できる場として活用できるように、親水性の向上を図っていく。



③ 階段護岸の整備 (左岸)

整備中



水辺のふれあい区間イメージ

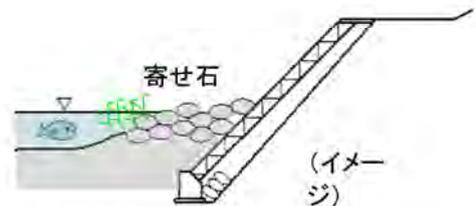
子供たちが水とふれあえる空間をつくれます

階段状ブロック
・水辺のアプローチと水遊び空間

生物の生息・生育区間イメージ

水辺から堤防まで、連続した生態系をつくれます

生態系保全
・覆土 自然環境の復元
・藻・水草等の植生復元による魚類等の育成



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
越前町市地先 (市姫橋) ～宝泉寺地先	[Red bar indicating the project period]		
	H18 年度	H27 年度	R7 年度
			R17 年度

点検結果の考察

- 河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。
- 階段護岸を整備し、環境学習の場とすることで、親水性の向上を図っていく。

河川整備計画 進捗点検	No.07	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P16~17	P35~40	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (7) 吉野瀬川		
	内容	吉野瀬川ダム整備 (左岸) 越前市広瀬町186字に岩谷地先 (右岸) 越前市広瀬町183字木野境地先		
点検方法		① ダム整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		ダム整備進捗率(%) = 施工済量(m ³) ÷ 計画量(m ³) × 100 付替県道整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

① ダム整備の進捗状況

【工事期間】

平成3年度～令和8年度

【指標】

ダム整備進捗率 (%)

$$= 75,700(m^3) \div 137,170(m^3) \times 100$$

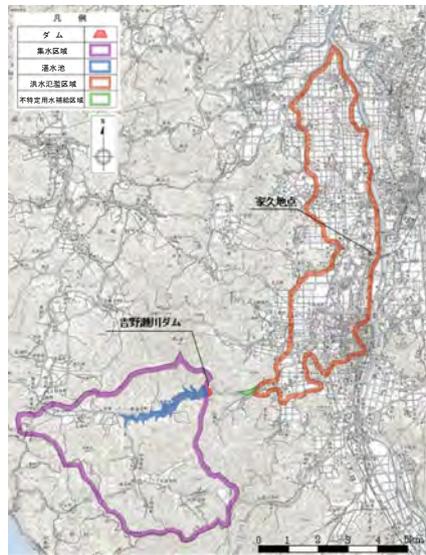
$$= 55 \%$$

付替県道整備進捗率 (%)

$$= 5,057(m) \div 5,349(m) \times 100$$

$$= 95 \%$$

流域全体図

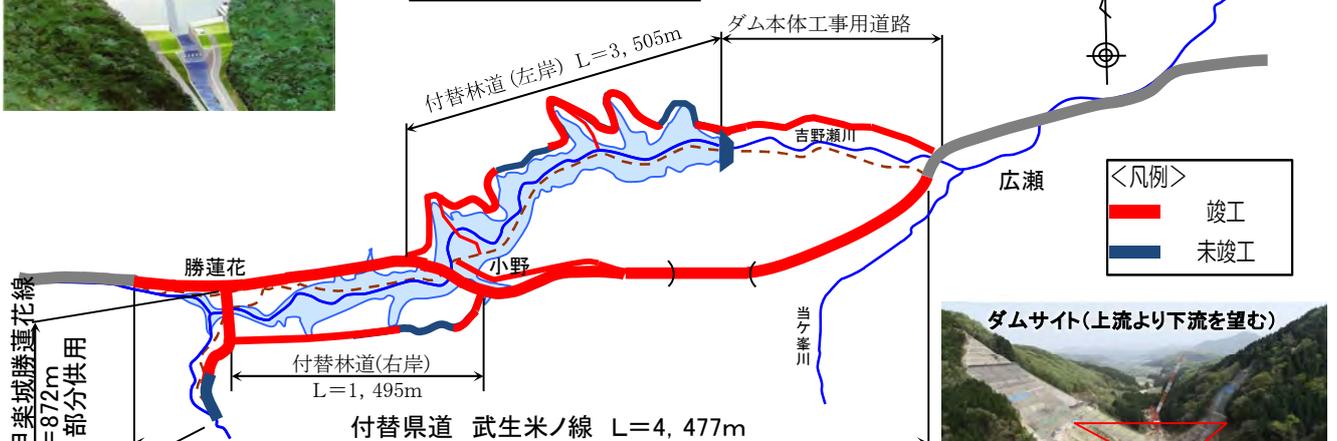


計画概要

目的	洪水調節 流水の正常な機能の維持
計画規模	1/70 (暫定運用 1/30)
計画雨量	189mm (日雨量)
型式	重力式コンクリートダム
洪水調節方式	自然調節方式
堤高	58.0 m
堤頂長	190.0 m
堤体積	137,170 m ³
湛水面積	51 ha
総貯水量	7,800,000 m ³
治水容量	5,700,000 m ³
利水容量	1,100,000 m ³
堆砂容量	1,000,000 m ³



ダム事業全体計画図



令和5年度末時点



- 付替県道武生米ノ線は、平成30年8月11日に全線開通。
- 令和2年12月仮排水路トンネルによる転流開始。
- 令和4年1月からダム本体基礎掘削に着手し、令和5年4月からダム本体のコンクリート打設を開始。

② 整備時の配慮事項

ダム建設にあたっては、魚類や植物さらに周辺の森林に生息する様々な動物の生息に配慮して、水質、騒音、振動など周辺環境への影響が極力少なくなるように配慮しています。
 また、ダム開発周辺地で発見された希少動植物については、専門家の意見を参考にし、関係機関と調整のうえ、移植を実施し、生育状況の確認を行っています。

- 水質保全対策として河川の継続的な水質観測のほか、道路法面等の緑化を早期に実施することによる工事区域からの濁水流出防止に努めている。
- 騒音、振動対策として、工事で使用する建設機械に低騒音・低振動型を用いている。
- 事業による、両生類（アベサンショウウオ）、植生、猛禽類などの希少動植物への配慮として、検討会を継続して実施し、学識経験者からの指導助言を基に、生息や繁殖に影響が及ばないように必要な環境保全措置を実施し、工事を進めている。
- 主な保全措置として、新たな生息成育空間としてピオトープを整備し、アベサンショウウオやミズトンボ等の移植を実施している。また、継続してモニタリング調査を実施し、工事による影響や生息状況の把握を行っている。
- 移植後のアベサンショウウオ、ミズトンボ等についてモニタリング調査により移植先での生息が確認されている。



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
越前市広瀬町	—————		
	H21 年度	H30 年度	R10 年度
		R20 年度	

点検結果の考察

- 今後も環境に配慮しながらダム本体や付替道路などの工事を実施する。

河川整備計画 進捗点検	No.07	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P16~17	P35~40	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (7) 吉野瀬川・吉野瀬川放水路		
	内容	吉野瀬川・吉野瀬川放水路の河川整備 <ul style="list-style-type: none"> 越前市家久地先～芝原1丁目地先の2,400m区間 鯖江市鳥井町地先(日野川合流点)～下司町地先(下司橋)の630m区間 		
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

昭和57年度～令和10年度

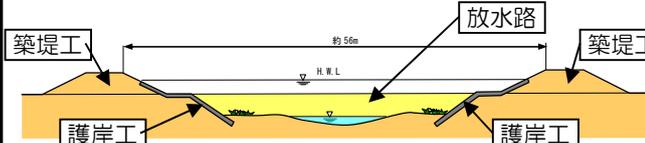
【指標】

整備進捗率 (%)

$$= 1,970(m) \div 3,030(m) \times 100$$

$$= 65 \%$$

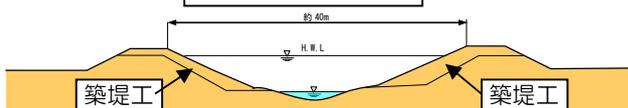
A-A' 横断図



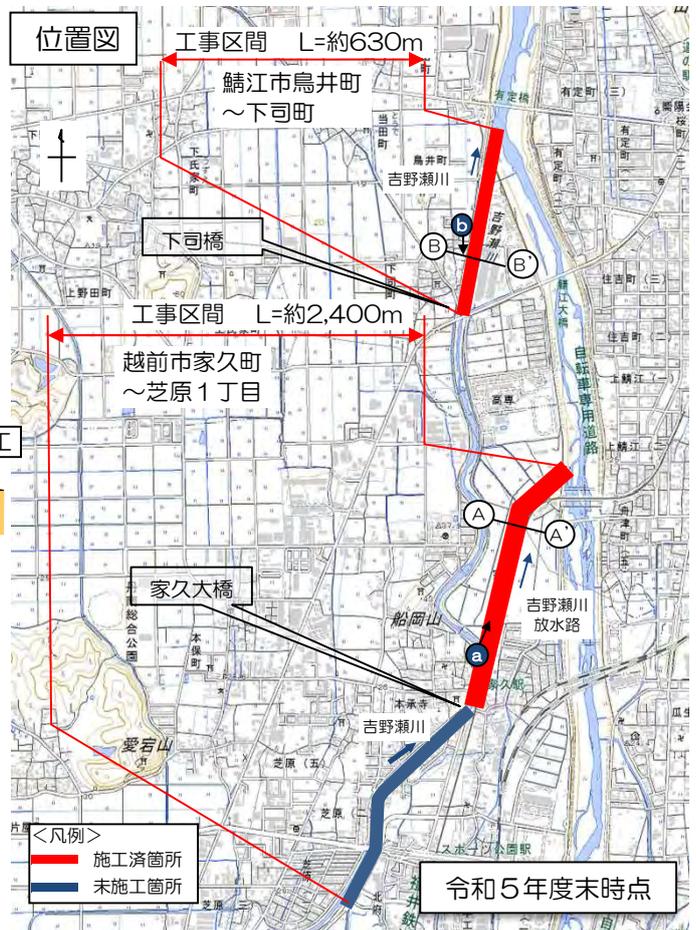
a 越前市家久町 (放水路)



B-B' 横断図



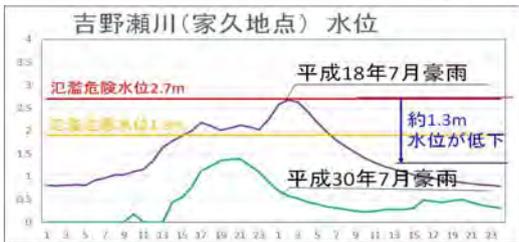
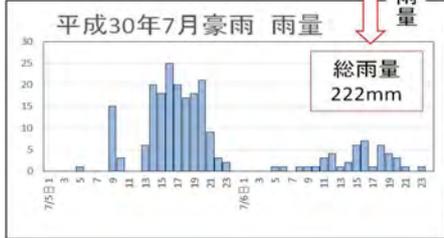
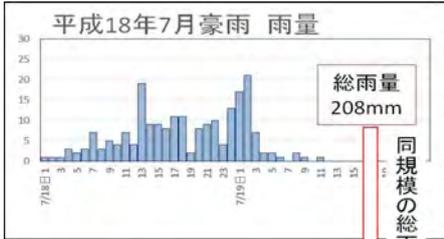
b 下流部築堤区間



放水路完成後に、日野川の背水対策としてバック堤の整備を令和3年度に完了。
区間：鯖江市鳥井町～下司町

② 整備時の配慮事項の確認

- 放水路については、平成29年11月から供用開始し、下流域の治水安全度が向上した。



平成18年7月豪雨では、吉野瀬川下流部で浸水被害が発生したが、同規模の雨が降った平成30年7月豪雨では浸水被害が発生せず、整備による治水安全度の向上が図られた。

- 吉野瀬川上流で拡幅を進めており、家久大橋まで整備が完了。



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
越前市家久町～芝原1丁目	—————		
鯖江市鳥井町～下司町		———	
	H18 年度	H27 年度	R7 年度
			R17 年度

点検結果の考察

- 河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。

河川整備計画 進捗点検	No.08	整備計画本文との対応（ページ）		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P16~17	P40~43	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (8) 鹿蒜川		
	内容	鹿蒜川の河川整備 ・ 南越前町今庄地先（今庄橋）～上新道地先までの約2,900m区間		
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

平成13年度～平成21年度
令和4年度～令和6年度

【指標】

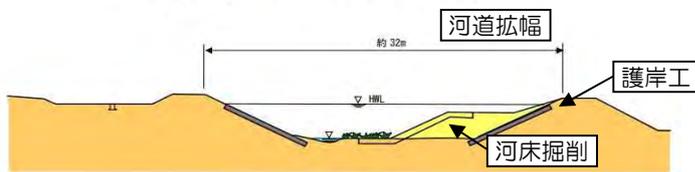
整備進捗率 (%)

$$= 940(m) \div 2,900(m) \times 100$$

$$= 32 \%$$



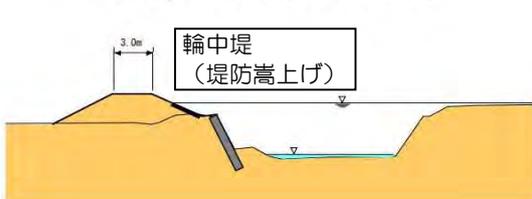
①-① 日野川合流点から 0.8km 付近



治水安全度1/10の暫定断面を
完成断面（治水安全度1/30）
へ改修。



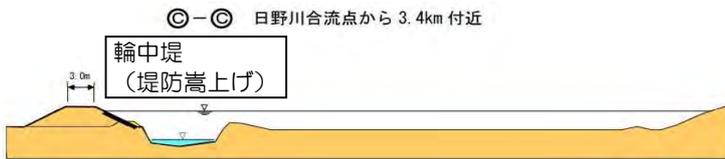
②-② 日野川合流点から 1.4km 付近



令和4年8月5日大雨によって
被災した堤防、護岸の原型復旧
を実施中。



① 河川整備の進捗状況



令和4年8月5日大雨によって被災した堤防、護岸の原型復旧を実施中。

◎ C 被災時



令和4年8月5日大雨によって被災した堤防、護岸の原型復旧を実施中。

◎ d 被災時



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
河道改修330m+暫定改修470m	一定効果を確保したことから事業休止		
河道改修610m			
輪中堤整備			
	H18	H21	H28
	年度	年度	年度
			R4 R6 R8
			年度 年度 年度
			R18
			年度

② 整備時の配慮事項の確認

現況河道の平常時水深を確保して魚類等の生息環境を維持するため、低々水路を設けます。また、護岸については、覆土を施すなどの環境保全型の工法を採用し、植生の早期回復を図ります。河道改修区間の落差工は、全面緩傾斜型とし、魚類および底生生物の生息環境に与える影響を抑えます。

施工済み（平成13年度～平成21年度 河道改修区間 下流端から330m区間）

- ・ 宅地開発行為に合わせ、湾曲部の河道付替えを行った。
- ・ 護岸には覆土を施すなど環境保全型の工法を用い、落差工においては全面緩傾斜型として魚類や底生生物への影響に配慮するなど対策を実施している。

令和4年8月5日大雨を踏まえた河道改修と輪中堤整備による再度災害防止（令和4年度～）

- ・ 現地発生土による埋め戻しを行い、外部からの植生を侵入させない。
- ・ 基本的に河道の直線化は行わず、現況河道の線形を尊重した河道法線とする。
- ・ 巨礫は取り除かず直線区間の水深が浅いところや水衝部に存置。
- ・ 落差工に扇形に石を置くことで魚が遡上しやすいようにする。
- ・ 山付き部は保全する。

点検結果の考察

- ・ 堤防、護岸の原型復旧については引き続き事業進捗を図っていく。
- ・ 輪中堤整備については早期に着手できるよう用地取得を進める。

河川整備計画 進捗点検		No.9	整備計画本文との対応（ページ）	
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
			P16~17	P44
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理		
	内容	(1) 河川管理施設の維持管理 ① 河川管理施設の巡視 ② 広野ダムおよび柘谷ダムの点検		
点検方法		実施状況の確認		
参考指標		—		

① 「河川管理施設の巡視」の実施状況

- 河川巡視は、「河川管理施設の保全状況」や「河川区域での違法行為」などについて把握するため、「福井県河川パトロール実施要領」に基づき、ブロック内の管理河川（43河川、総延長約318.1km）を対象に実施している。
- 巡視の実施頻度は、全河川において「年1回以上」実施しており、これに加えて重要水防区域や水防警報河川については「出水期前に1回、出水期間中に月1回以上」実施している。

河川管理施設の点検内容（福井県河川パトロール実施要領より）

項目	パトロール内容	措置
堤防の状況	亀裂、沈下、法崩れ、漏水箇所の有無	異常があれば、写真撮影・測量し報告する
護岸の状況	亀裂、洗掘、陥没箇所の有無	
根固の状況	流失、破損箇所の有無	
構造物（取水堰等）の状況	亀裂、漏水、流失、洗掘の有無	
河状、流水の変化	河床の異常洗掘、みお筋の変化 土砂の堆積の状態はどうか 草木等が異常に繁茂していないか	異常があれば、写真撮影・測量し報告する 草木が繁茂している場合は、除草する
親水施設の状況等	利用安全性 （施設の損傷、危険性の確認）	異常があれば、写真撮影・測量し報告する 危険がある場合、注意喚起する

河川環境の点検内容（福井県河川パトロール実施要領より）

項目	パトロール内容	措置
河川および排水の水質状況	特殊な汚濁色、油の流下、魚のへい死への対応 （油、へい死した魚の回収作業を含む）	発見した場合、写真撮影・報告する
ゴミ投棄	河川区域へのゴミ投棄、 放置車両がないか	発見した場合、写真撮影・回収する 違法投棄者がわかれば、撤去の要請をする
生態系の状況	利用安全性 （施設の損傷、危険性の確認）	異常があれば、写真撮影・測量し報告する 危険がある場合、注意喚起する

日野川（越前市家久）



平成29年4月撮影

② 「広野ダムおよび柘谷ダムの点検」の実施状況

- 広野ダムおよび柘谷ダムにおいて、施設の機器について「月点検」と「年点検」を実施している。機器に異常が確認された場合は、修理を行うなど、良好な状態を維持している。

柘谷ダム 堤体計測状況（間隙水圧）



柘谷ダム 堤体計測状況（漏水量）



点検結果の考察

- 引き続き河川管理施設において、適切な維持管理を行っていく。

河川整備計画 進捗点検		No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
			P16~17	P44
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (2) 河道の維持管理		
	内容	① 堆積土砂の除去、樹木群の伐採 ② 橋梁や樋門等の新設・改築時の占有者への指導		
点検方法		実施状況の確認		
参考指標		—		

① 「堆積土砂の除去」「樹木群の伐採」の実施状況

- 河川内の堆積土砂については、河積阻害状況等を考慮し、除去している。
- 樹木群の伐採にあたっては、コスト削減のため、住民に伐採木を無償提供している。

樹木群の伐採（日野川 越前市八幡1丁目他）



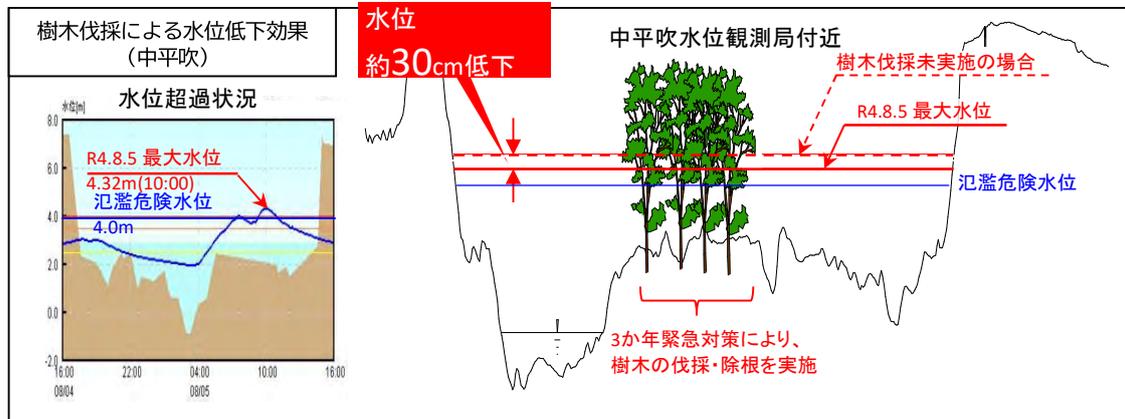
堆積土砂の除去（河和田川 鯖江市落井町）



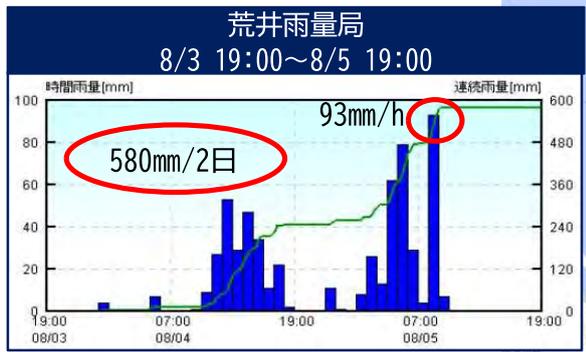
① 「堆積土砂の除去」「樹木群の伐採」の実施状況

樹木伐木による水位低下効果（日野川）

- 令和4年8月4日から5日にかけての大雨において、3つの観測局（糺橋、中平吹、今庄水位局）で氾濫危険水位を超過したが、これまでの樹木伐採および広野・榎谷ダムによる洪水調節の効果により、河川水位を低下させたことで、浸水被害の防止に寄与。



■河川名：日野川
福井市～南越前町
■実施内容：伐木除根 473,000m²



② 「橋梁や樋門等の新設・改築時の占用者への指導」の実施状況

- 河川工作物については、「河川管理施設等構造令」との適合性を審査するなど、河川管理に支障が生じないように指導を行っている。
(平成30年度～令和4年度の占用許可 [新規] 橋梁9件、樋門2件、その他16件)

点検結果の考察

- 河道断面を維持するため引き続き計画的に土砂の除去や伐採を行っていく。

河川整備計画 進捗点検	No.11	整備計画本文との対応 (ページ)	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16~17	P44~45
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 (3) 防災機能の充実	
	内容	① 流域内の雨量や河川水位情報の提供 ② 浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		-	

① 「流域内の雨量や河川水位情報の提供」の実施状況

- 日野川ブロックにおいては、雨量観測所を28箇所、水位観測所を34箇所、危機管理型水位計を14箇所、および河川カメラを27箇所設置している。

<福井県全体>

雨量観測情報 (福井県：81箇所、国土交通省：27箇所、気象庁：14箇所)

水位観測情報 (福井県：83箇所、国土交通省：20箇所)

河川カメラ画像 (福井県：78箇所、国土交通省：3箇所、市町：1箇所)

- 雨量や河川水位等の河川情報については、「河川・砂防総合情報システム」により、地域住民にインターネットで提供している。

河川・砂防総合情報システム (<http://ame.ain.pref.fukui.jp/>)



② 「浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成」の実施状況

≪洪水浸水想定区域図・水害リスク図・洪水ハザードマップの作成≫

- 平成27年の水防法改正に伴い、現在、洪水浸水想定区域については、「想定し得る最大規模の洪水に係る区域」を指定・公表（令和元年6月4日、令和2年6月16日）。
- 水位周知河川に指定されている江端川、天王川、浅水川、鞍谷川、吉野瀬川について、洪水浸水想定区域図を作成し、インターネットで公表している。
- 洪水予報河川および水位周知河川以外の県管理河川について、「水害リスク図」として、氾濫推定図を公表（令和2年8月までで全て公表）。
- 洪水浸水想定区域図と水害リスク図を反映した関係市町の洪水ハザードマップが公表されている。

洪水ハザードマップの公表状況

作成市町	公表年月	対象河川（洪水予報河川および水位周知河川は河川名表記）
福井市	令和3年9月	九頭竜川 日野川 足羽川 荒川 江端川 その他中小河川
鯖江市	令和3年5月	日野川 浅水川 鞍谷川 吉野瀬川 その他中小河川
越前市	令和3年5月	日野川 浅水川 鞍谷川 吉野瀬川 その他中小河川
南越前町	令和4年3月	日野川 その他中小河川
越前町	令和3年4月	日野川 天王川 その他中小河川

≪福井県管理河川減災対策協議会（H29.6設立）の実施≫

- 洪水の浸水想定等の水害リスク情報を共有するとともに、円滑かつ迅速な避難および的確な水防活動等を実現するため、各構成員がそれぞれまたは連携して取り組む事項をまとめた地域の取組方針を作成し、実施している取組状況を共有・確認。

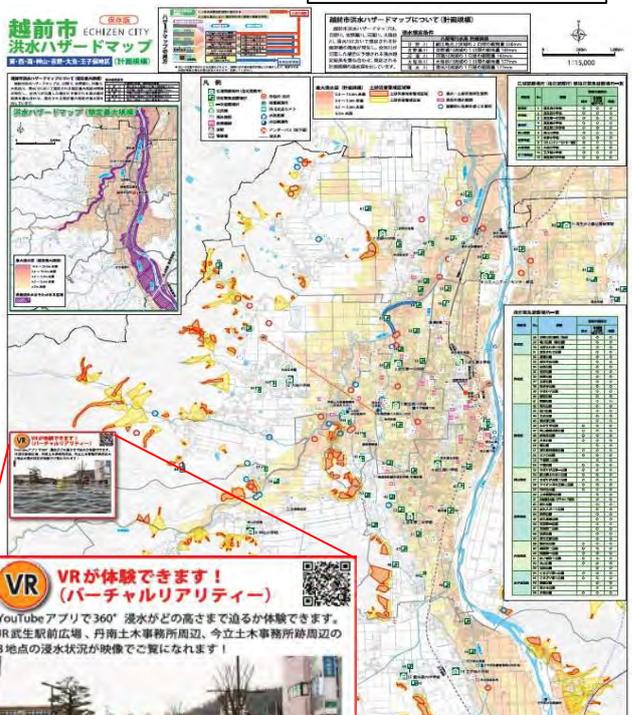
■減災のための目標

嶺北ブロックの県管理河川で発生し得る大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指し、

- （1）円滑かつ迅速な非難
- （2）的確な水防活動の実施
- （3）一刻も早い復旧

の実施を継続的に推進すべき目標とする。

越前市洪水ハザードマップ



VRが体験できます！（バーチャルリアリティー）

YouTubeアプリで360° 浸水がどの高さまで迫るか体験できます。JR武生駅前広場、丹南土木事務所周辺、今立土木事務所跡周辺の3地点の浸水状況が映像でご覧いただけます！

越前市では、洪水浸水想定区域図の計画規模や想定最大規模の浸水に達した場合、表示する地点での浸水状況を360度3D画像で表示し、視覚的に体感できるVR動画を提供

福井県管理河川減災対策協議会開催状況



平成29年6月撮影

点検結果の考察

- 引き続き、浸水想定区域図等により水害リスクに関する情報の提供をしていく。
- 福井県管理河川減災対策協議会により、水害リスク情報等を共有していく。

河川整備計画 進捗点検	No.12	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P45
記載事項	項目	5.2.2.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する維持管理 (1) 水量の管理 (2) 許可工作物の設置等への対応	
	内容	① 日常的な水量の把握 ② 慣行水利権の許可水利権への移行 ③ 濁水対応 ④ 占用工作物の監督	
点検方法		実施状況の確認および指導状況	
参考指標		-	

① 「日常的な水量の把握」の実施状況

- ・ 次の水位観測所で水位を常時観測している。

水位観測所		水位観測所	
河川名	観測所	河川名	観測所
日野川	江端川水門（日野川水位）、狐川水門（日野川水位）、三尾野（国）、久喜津（国）、深谷（国）、	浅水川	出作、黒津川水門（浅水川水位）、鳥羽、北
	糺橋、石田川水門（日野川水位）、中平吹、	黒津川	黒津川水門（黒津川水位）
	家久（鱒江）、聖橋、今庄、二ツ屋、岩谷	鞍谷川	松成、粟田部
	狐川	狐川水門（狐川水位）、若杉	河和田川
江端川	江端川水門（江端川水位）、江端	服部川	東庄境
朝六ツ川	安保	天王川	宝泉寺、江波
和田川	田中、近田橋	吉野瀬川	上太田、家久（吉野瀬川）
石田川	石田川水門（石田川水位）		

② 「慣行水利権の許可水利権への移行」の実施状況

- ・ 浅水川において平成30年、令和元年に各1件許可水利権に移行した事例があった。

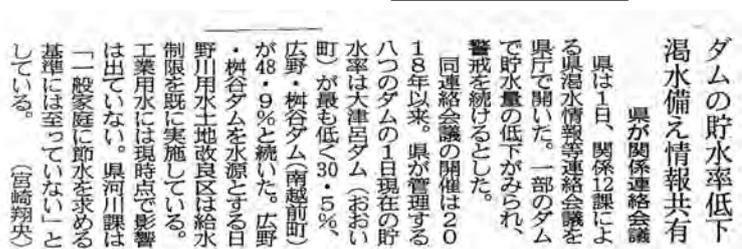
③ 「濁水対応」の実施状況

- ・ 令和4年7月に少雨による濁水被害が懸念されたため、「福井県濁水情報等連絡会議」を開催し、関係市町に住民への節水の呼びかけを依頼したほか、利水者に節水の呼びかけを行った。

福井新聞（R4.6.29）



福井新聞（R4.7.2）



④ 「占用工作物の監督」の指導状況

- ・ 平成24年度から平成29年度にかけて、構造物の劣化が著しく、河川管理上の支障が生じる恐れがあると判断される工作物が3件あったため、施設管理者に対して施設の改善を指導した。

点検結果の考察

- ・ 引き続き河川が適正に利用されるよう、管理に努めていく。

河川整備計画 進捗点検	No.13	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P45
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (1) 水質の監視	
	内容	① 水質に対する住民意識向上のための啓発活動・広報活動 ② 水質事故等の発生時の対応 ③ 水質監視	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		-	

① 「水質に対する住民意識向上のための啓発活動・広報活動」の実施状況

- 水質に対する住民の意識を高めるために、1年に1回（12月頃）油流出防止について、新聞等に掲載し県民に注意を呼びかけている。

気をつけよう

油の流出に注意しましょう
 冬場は灯油を扱う機会が増え、給油中の油漏れが起こりやすい時期です。事故を防ぐため、次のことに注意しましょう。
 ○燃料機器や配管は定期的に点検する
 ○給油中はその場を離れず、目を離さない
 ○廃油は少量でも、側溝や河川などに捨てない
 ○油が漏れたときは、布などでふき取り、水路などへの流出を防ぐ
 ○敷地外に漏れた場合は、速やかに県土木事務所や健康福祉センター、市町、消防組合、警察のいずれかに連絡する
 河川課 TEL:0776(20)0480 FAX:0776(20)0696

福井県からのお知らせ（R4.11.15）

広報FUKUI（H29.12.10）

河川への油流出を 防ぎましょう
 近年、河川への油の流出事故が多発しています。油は河川の水質や水生生物のほか、河川の水を利用しての上水道や農業などへ影響を及ぼす恐れがあります。事故を防ぐため、次のことに注意しましょう。
 ・燃料機器への給油中は、その場を離れない
 ・雪の重みにより給油管が破損する恐れがあるので、ボイラーやストーブ、農業機械などの貯油タンクや配管などを定期的に点検・整備する
 ・万が一、油が漏れた時は、布などで拭き取り、水路などへの流出を防ぐ

② 「水質事故等の発生時の対応」の実施状況

- 油流出は生じているが、「魚へい死」は確認されていない。
 事故発生の際は、現地調査を実施し、原因者に被害拡大防止措置を指示している。

水質事故件数（平成30年度～令和4年度）（単位：件）

	H30	R1	R2	R3	R4
事故件数	1	0	4	2	2
油	1	0	4	2	2
魚へい死	0	0	0	0	0

③ 「水質監視」の実施状況

- 次の河川の箇所において、環境基準値（BOD75%値）が定められている。
- 平成29年度～令和3年度の観測値は、環境基準値の範囲内である。

水質測定地点と測定結果（平成29年度～令和3年度）（単位：mg/リットル）

	基準値 BOD75%値	測定結果				
		H29	H30	R元	R2	R3
日野川 豊橋	2 (A類型)	0.5	0.8	0.9	0.8	0.6
日野川 清水山橋	3 (B類型)	1.2	1.3	1.5	1.9	1.6
天王川 末端	2 (A類型)	1.0	0.9	0.9	0.7	0.9
吉野瀬川 芝原井橋	2 (A類型)	0.5未満	0.6	0.8	0.5	0.6
吉野瀬川 高見橋（～H30下見橋R元～）	5 (C類型)	3.3	2.4	1.7	1.6	1.4
浅水川 曲木橋	3 (B類型)	2.2	2.6	2.2	1.8	1.6
浅水川 天神橋	5 (C類型)	1.9	2.2	2.1	1.7	1.7
狐川 狐橋	5 (C類型)	2.4	2.6	1.7	2.1	1.9
鞍谷川 小富士橋	8 (D類型)	6.6	3.1	3.8	4.1	7.8
鞍谷川 浮橋	5 (C類型)	1.9	2.3	2.1	2.7	1.9
穴田川 樺木橋	3 (B類型)	1.9	2.1	1.9	1.6	1.6

点検結果の考察

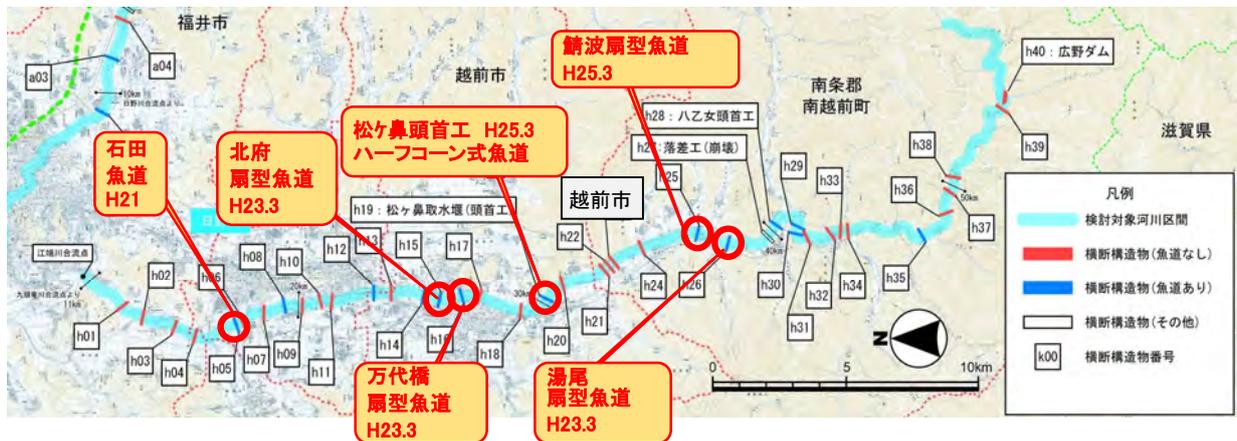
- 引き続き適切な水質監視を行っていく。

河川整備計画 進捗点検	No.14	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P46
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	① 魚類のモニタリング調査	
点検方法		日野川における魚類のモニタリング調査結果の確認	
参考指標		魚類数の経年変化	

① 日野川における魚類のモニタリング調査結果の確認

【背景】

- 地元の市民団体「日野川流域交流会」と連携し、魚の遡上に支障が大きいと考えられた箇所について、平成21年度～平成24年度に魚道の改修等を実施。



※ 広野ダムまでの横断構造物の総数 39箇所

- 魚道なし → 26箇所（その内、魚が遡上するのに支障が大きいのは9箇所）
- 魚道あり → 13箇所（その内、魚が遡上するのに支障が大きいのは7箇所）

● 松ヶ鼻頭首工の魚道改修

（越前市 H21～H25）

- 既設の階段式魚道が老朽化による機能低下や多種の魚に十分機能していなかったため、水深や流速に変化を持たしたハーフコーン式魚道に



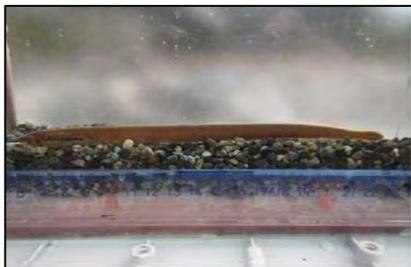
① 日野川における魚類のモニタリング調査結果の確認

【モニタリング結果】

- 令和5年度にかけて、秋季（5～6月）・春季（10～11月）で定点において魚類のモニタリング調査を実施した結果、確認種に大きな変化は見られない。



- 令和4年度調査で日野川（越前市下平吹、南越前町広野）において確認された重要種。



スナヤツメ南方種



ヤリタナゴ



アジメドジョウ



アカザ



サクラマス (ヤマメ)



カジカ



ジュズカケハゼ種群

① 日野川における魚類のモニタリング調査結果の確認

越前市下平吹の経年変化

目名	科名	種名	H19-20	H24-25	H29-30	R4-R5 ※R5は速報	備考
ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ南方種	●	●		●	県危惧Ⅱ
コイ	コイ	コイ（野生型）			●	●	
		コイ（飼育型）			●		
		ギンブナ	●			●	
		ヤリタナゴ	●			●	要注目
		オイカワ	●	●	●	●	
		カワムツ	●	●	●	●	
		カワムツ類					
		アブラハヤ	●	●	●	●	
		ウグイ	●	●	●	●	
		モツゴ		●			
		ピフヒガイ		●			
		タモロコ	●				●
		カマツカ	●	●	●	●	
		ニゴイ		●	●	●	●
		スゴモロコ類		●			
		ドジョウ	ドジョウ	ドジョウ	●	●	●
ニシシマドジョウ					●		
アジメドジョウ	●			●	●	●	県危惧Ⅱ
ナマズ	アカザ	アカザ	●	●	●	●	県危惧Ⅱ
サケ	アユ	アユ	●	●	●	●	
	サケ	サクラマス（ヤマメ）			●		県危惧Ⅱ
		サツキマス（アマゴ）	●				準絶滅
スズキ	ドンコ	ドンコ	●	●	●	●	
	ハゼ	シマヨシノボリ		●	●		
		ルリヨシノボリ		●			
		オオヨシノボリ		●	●		
		トウヨシノボリ類	●	●			
		ジュスカケハゼ種群	●	●	●	●	県危惧Ⅱ
5 目	8 科	29 種	17 種	20 種	18 種	16 種	

重要種

- 県危惧Ⅱ： 地方において特筆すべき文献等（地方版レッドデータブック）福井県 県域絶滅危惧Ⅱ類
 要注目： 地方において特筆すべき文献等（地方版レッドデータブック）福井県 要注目
 危惧ⅠB： 環境省NRL 絶滅危惧ⅠB類（EN）
 準絶滅： 環境省NRL 準絶滅危惧ⅠB類（NT）

南越前町広野の経年変化

目名	科名	種名	H19-20	H24-25	H29-30	R4-R5 ※R5は速報	備考	
コイ	コイ	コイ（野生型）			●			
		オイカワ				●		
		カワムツ	●	●	●	●		
		アブラハヤ	●	●	●	●		
		ウグイ	●	●	●	●		
		スゴモロコ				●		
		ドジョウ	アジメドジョウ	●				県危惧Ⅱ
ナマズ	アカザ	アカザ	●	●		●	県危惧Ⅱ	
サケ	アユ	アユ				●		
	サケ	アメマス類（イワナ）	●				●	県危惧Ⅱ
		サクラマス（ヤマメ）	●	●	●	●	●	県危惧Ⅱ
		サツキマス（アマゴ）	●				準絶滅	
スズキ	カジカ	カジカ	●	●	●	●	県準絶滅	
	ドンコ	ドンコ		●	●			
	ハゼ	カワヨシノボリ				●		
		オオヨシノボリ				●		
		トウヨシノボリ類		●		●		
4 目	8 科	17 種	9 種	8 種	7 種	10 種		

重要種

- 県危惧Ⅱ： 地方において特筆すべき文献等（地方版レッドデータブック）福井県 県域絶滅危惧Ⅱ類
 県準絶滅： 地方において特筆すべき文献等（地方版レッドデータブック）福井県 県域準絶滅危惧
 危惧ⅠB： 環境省NRL 絶滅危惧ⅠB類（EN）
 準絶滅： 環境省NRL 準絶滅危惧ⅠB類（NT）

点検結果の考察

- 引き続きモニタリングを実施しながら順応的管理を進める。

河川整備計画 進捗点検	No.15	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P46
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (3) 河川空間の適切な利用	
	内容	① オープンスペースとしての高水敷の利用状況や 自然豊かな河川とのふれあい・体験学習の場としての利用等 ② 河川内の不法投棄を防ぐための対策	
点検方法		利用状況、実施状況の確認	
参考指標		-	

① 「オープンスペースとしての高水敷の利用状況や
自然豊かな河川とのふれあい・体験学習の場としての利用等」状況

- ・ 日野川河川緑地公園でのイベント

『そうだ！川に行こう！』は、河川協力団体に指定（H28.1.4）された「日野川流域交流会」のプロジェクトの一つである「日野川に砂礫河原をとりもどす会」が平成21年7月から毎年開催しており、平成29年7月に開催された『第9回そうだ！川に行こう！』では、「アユの手づかみ漁！」「そうだ！川で泳ごう！」「Eボートで川探検！」など様々なイベントが開催された。

「日野川流域交流会」の事務局である一般財団法人環境文化研究所は、令和元年8月に『リバーパラダイス2019』として、SUP、Eボート、チュービング、川泳ぎ等が体験できるイベントを開催し、令和4年10月には『リバーパラダイス2022』を開催しました。



② 「河川内の不法投棄を防ぐための対策」の実施状況

- ・ 福井県河川パトロール実施要領に基づき、河川巡視を実施している。

河川環境の点検内容（福井県河川パトロール実施要領より）

項目	パトロール内容	着工前調査
ゴミ投棄	・ 河川区域へのゴミ投棄、 放置車両がないか	・ 発見した場合、写真撮影・回収する違法投棄者が わかれば、撤去の要請をする。

点検結果の考察

- ・ 河川敷がイベント等で活用されている。
- ・ 引き続き不法投棄を減らすための対応を講じていく。

河川整備計画 進捗点検	No.16	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P47
記載事項	項目	5.3.1 地域住民との協働	
	内容	① 住民参加による河川美化活動	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「住民参加による河川美化活動」の実施状況

- ・ 毎年、住民や企業・団体等が、河川の草刈りや清掃活動に参加している。
- ・ 住民団体等が実施する河川の草刈りを支援する補助金により河川環境づくりを推進している。

地域をつなぐ河川環境づくり推進事業（補助金）を活用した住民団体等の取組状況

	H30	R元	R2	R3	R4
参加者数（人）	28,567	27,430	17,825	24,118	17,697
草刈面積（㎡）	1,667,109	1,645,399	915,109	1,644,555	1,611,955



点検結果の考察

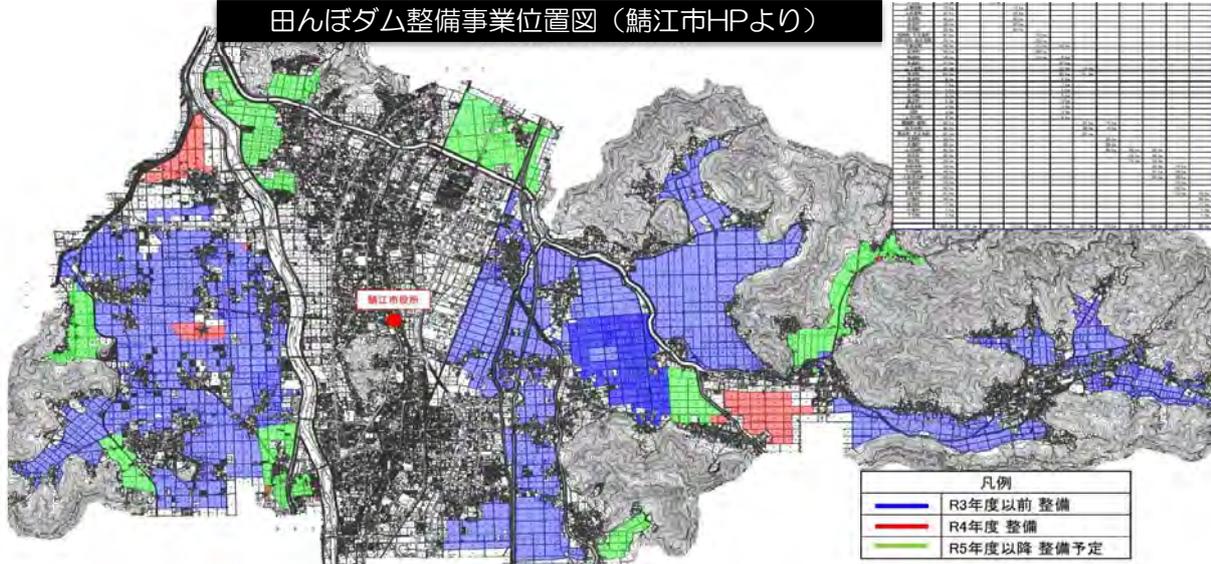
- ・ 引き続き地域住民との協働による河川美化活動が定着するよう努めていく。

河川整備計画 進捗点検	No.17	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P11~12	—
記載事項	項目	3.1.3 流域治水	
	内容	流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 流域対策

- 流域対策の一環として、市町と協働で「田んぼダムの促進」に取り組んでおり、鯖江市ではH24から営農者と協力して田んぼダムを展開し、約2,000haの田んぼのうち、令和4年度末時点で1,505haで田んぼダムを実施している。
- 国、県、市町各部署（河川、農林、都市、防災等）担当で、流域治水ワーキンググループの場を活用し、各流域での具体的な流域治水対策の検討を進めている。
- そのほか、流域治水リーフレットの作成・配布や、防災士会または報道機関が主催する防災講座において流域治水の取組を紹介し、理解促進を図っている。

田んぼダム整備事業位置図（鯖江市HPより）



流域治水リーフレット



防災講座

点検結果の考察

気候変動の影響により、水災害のリスク増大が懸念されている中で、「田んぼダム」の取組は地域の防災・減災に貢献し、かつ大規模な施設を造成する必要がなく、安価で、すぐに効果が発揮できることから、流域治水の一環として、さらに推進していく必要がある。